

150周年記念キャラクター「たちばにゃん」



橘小学校ホームページのQRコードです。

# 「輝け！橘っ子」通信

阿南市立橘小学校  
学校だより No.30  
令和6年12月20日  
校長 上原 小代子

学校教育目標「ともに生きる力としなやかに伸びる力をもち、たくましく夢を追求する児童の育成」  
めざす学校「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」

今週は気温がぐっと下がり、背中を丸めて登校する子どもたちの姿が目立ちました。冬休み前の登校日は、12月23日(月)を残すのみとなりましたが、子どもたちの気持ち的には「今週で終わりだったら・・・」というところでしょうか。寒さに負けず、来週あと1日、元気よく登校してくれたらと思います。他校ではインフルエンザが流行ってきているようです。手洗い・うがいや適切なマスク使用等で感染症対策をしっかりして、あと19日元気に登校するとともに、年末年始も病気や事故のない楽しい冬休みを過ごしてほしいと願います。

## 人権集会、「みんなでいじめ問題を考える日」を実施しました！

12月17日(火)5校時、「橘っ子人権集会～いじめについて考えよう～」を実施しました。橘小学校では、毎年、12月4日から10日の「人権週間」に合わせて、人権集会を実施していますが、今年度は、徳島県内のすべての公立学校が参加して、「みんなでいじめ問題を考える日『徳島県児童生徒6万5千人のいじめ防止一斉学習2024』」を実施することとなり、この日に合わせて、人権集会を実施しました。

文部科学省より公表された調査結果によると、全国でいじめの認知件数が73万件を超えるなど、各学校で早期発見・早期対応に努めている一方で、毎年いじめの認知件数が増えている現実があります。このことを憂慮し、徳島県では、学校教育だけでなく、社会全体で子どもたちを見守り、いじめのない社会をつくっていかうとする機運を高めていくため、先日、『「いじめ」ゆるさんけん！～徳島行動宣言～』を発表しました。(裏面参照)

これと合わせて、このたびの「みんなでいじめ問題を考える日」の実施となったわけですが、橘小学校では、まず、「いじめとは何なのか」「どうしていじめが起こるのか」「いじめをなくすためにできること」などについて各学年で話し合い、自分がこれからどう行動していくか発表し合いました。5校時には、全児童が体育館に集まり、人権・いじめ防止委員会の子どもたちによる人権劇を見た後、8グループに分かれ、意見を交換しました。子どもたちからは、「いじめられている人に『大丈夫だよ』と伝える」「いじている人に『やめなよ』と言う」「先生や家の人に相談する」といった意見が交わされました。

橘小学校では、7月に人権・いじめ防止委員会児童を中心に「橘っ子いじめゼロ宣言」を作成し、朝のあいさつ運動や友達してもらって嬉しかったことを伝え合う「ありがとうの手紙」の取り組みも続けています。こういった取り組みや今回の人権集会はいじめの抑止につながると考えています。

いじめられている人がいる世界では、人は決して幸せになれません。自分が属する世界からいじめをなくすために、自分にできることを行動にうつす橘っ子であってほしいと願います。



人権いじめ防止委員会による人権劇  
「あなたならどうする？」



「もし自分がいじめられたら、親や先生に相談します。」



「『一緒に遊ぶ方が楽しいよ』と勇気を出しています。」



全校児童で輪になって、「音楽のおくりもの」を歌う。

## 昔の遊び交流会

12月19日(木)3・4校時、1・2年生の子どもたちが地域の高齢者の方10名をお招きして、昔の遊び交流会を実施しました。

互いの自己紹介をした後、対面でお手玉やあやとりを楽しんだり、一緒にはねつきで思い切り体を動かしたり、コマ回しの競争をしたり、相手のめんこを裏返そうと全身をつかってめんこを床に打ち付けたりと、楽しい時間を過ごしました。地域の方にけん玉やコマ回しのコツを教え、嬉しそうなお子さんの姿も見られました。

地域の方の温かさに触れた2時間は子どもたちにとって宝物のような時間となりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



「一緒にあやとりをしましょう。」



「お手玉が上手にできるようになったよ。」

## 5年生しめ縄づくり

12月18日(水)2・3校時、5年生の子どもたちが、バケツ稲作りで1年間お世話になった山〇先生のご指導で、しめ縄作り挑戦しました。

自分たちが育てた稲を乾燥させたものに先生が持ってきてくださった稲を加え、10本くらいのわら束をつくり、そこから両手でわら束をねじりながら、縄をなっていました。最初はコツが分からなくて戸惑っていた子どもたちですが、わらを5本ずつに分け、まずねじってから縄をなっていくという手順で、どうにか縄をなうことができました。今度のお正月には、お正月飾りのしめ縄を見る視点が違ってくるのではないのでしょうか。山〇先生、ありがとうございました。



「わらの束の根元をしっかりと固定して、なっていくよ。」



「わら5本ずつをまずねじって、それから2本を絡ませていこう。」